



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月29日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名
 コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）神戸 俊郎
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）山口 大介 TEL 0561-51-0841
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

百万円未満切捨

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	19,267	11.7	6,348	5.8	6,574	14.9	4,466	15.2
2026年3月期第1四半期	17,256	6.2	6,002	6.4	5,722	△7.4	3,878	△13.9

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 4,746百万円（12.9％） 2026年3月期第1四半期 4,205百万円（△21.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	361.96	—
2026年3月期第1四半期	314.31	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	165,461	151,377	91.5
2026年3月期	162,691	147,262	90.5

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 151,377百万円 2026年3月期 147,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	51.00	—	51.00	102.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		55.00	—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	42,200	27.4	14,800	36.5	—	—	—	—	—
通期	93,300	25.3	33,700	34.9	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	12,372,000株	2026年3月期	12,372,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	32,153株	2026年3月期	32,114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	12,339,853株	2026年3月期1Q	12,339,793株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、各国の金融政策や為替動向に加え、中東・ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクが懸念される状況が継続しました。ハイテク市場においては、生成AI関連の幅広い分野での技術進化や投資の活発化と、世界的な半導体需要の高まりが見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、情報通信関連において次世代高速通信向けの需要が高水準で推移しました。以上の結果、売上高は前年同期比11.7%増の19,267百万円、営業利益は前年同期比5.8%増の6,348百万円となり、第1四半期として過去最高の業績となりました。また、経常利益は前年同期比14.9%増の6,574百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比15.2%増の4,466百万円となりました。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業は、情報通信関連において次世代高速通信向けの需要が高水準で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比10.1%増の16,785百万円、セグメント利益は前年同期比6.3%増の6,444百万円となりました。

②照明機器事業

当事業は、2030年100%LED化の政府目標に向けたLED需要の高まりにより、高水準で推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比23.7%増の2,482百万円、セグメント利益は前年同期比47.7%増の497百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は104,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,072百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品、仕掛品が増加したことによるものであります。固定資産は61,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,697百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は165,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,770百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は13,575百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,281百万円減少いたしました。これは主に法人税等の納付により未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は508百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。

これらの結果、負債合計は14,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,344百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は151,377百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,115百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,466百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は91.5%（前連結会計年度末は90.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月8日に公表した2027年3月期の連結業績予想について、情報通信関連及び半導体関連においてさらなる需要増加が見込まれることから、業績予想の修正を行います。

現時点の当社の市場動向の認識及び社内の状況は下記の通りです。

情報通信関連事業は、次世代高速通信関連の次期モデル向けで需要拡大の見通しです。大幅な需要増加に対応するため、新たに瀬戸工場新棟にて生産体制の強化を図ってまいります。

車載関連事業は、新エネルギー車市場において差別化製品によるシェアのさらなる拡大により成長を図ってまいります。併せて生産性の改善やAIの活用により、収益改善に注力してまいります。

半導体関連事業は、汎用メモリ関連の需要が第2四半期より本格的に拡大する見通しです。旺盛な需要に応えるため、三春工場新棟にて生産体制の強化を図ってまいります。

産業機器関連事業は、パワーモジュール関連が底堅く推移するほか、医療関連の新規製品の需要が増加する見通しです。

照明機器関連事業は、2030年100%LED化の政府目標に向けたLED需要の増加が見込まれ、公共・ハイエンド照明ともに引き続き堅調な業績が期待されます。

収益面については、地政学リスクの高まりに伴うエネルギー・素材のコスト上昇や、事業拡大のための投資が見込まれるものの、生産性改善により収益性のさらなる向上を図ってまいります。

※為替レートは、1ドル158円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,185	67,719
受取手形	47	4
売掛金	13,624	12,712
電子記録債権	1,505	1,781
商品及び製品	2,309	3,338
仕掛品	5,354	6,792
原材料及び貯蔵品	8,631	9,788
その他	4,525	2,118
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	103,175	104,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,634	18,833
機械装置及び運搬具（純額）	14,722	15,379
土地	5,750	6,164
建設仮勘定	16,351	17,825
その他（純額）	819	930
有形固定資産合計	57,277	59,132
無形固定資産		
その他	438	491
無形固定資産合計	438	491
投資その他の資産	1,799	1,588
固定資産合計	59,515	61,213
資産合計	162,691	165,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,254	4,435
電子記録債務	697	562
未払法人税等	3,942	1,704
賞与引当金	1,170	635
役員賞与引当金	133	3
その他	4,659	6,233
流動負債合計	14,856	13,575
固定負債		
繰延税金負債	213	148
その他	358	359
固定負債合計	571	508
負債合計	15,428	14,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,170	12,170
利益剰余金	122,660	126,497
自己株式	△198	△200
株主資本合計	143,279	147,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	90
為替換算調整勘定	3,930	4,173
その他の包括利益累計額合計	3,983	4,263
純資産合計	147,262	151,377
負債純資産合計	162,691	165,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,256	19,267
売上原価	8,180	8,845
売上総利益	9,075	10,422
販売費及び一般管理費	3,073	4,074
営業利益	6,002	6,348
営業外収益		
受取利息	87	115
受取賃貸料	33	38
為替差益	—	80
その他	23	11
営業外収益合計	144	245
営業外費用		
為替差損	356	—
投資不動産賃貸費用	13	14
その他	54	4
営業外費用合計	424	19
経常利益	5,722	6,574
特別利益		
固定資産売却益	—	1
補助金収入	2	1,221
特別利益合計	2	1,222
特別損失		
固定資産除売却損	0	76
固定資産圧縮損	2	1,196
棚卸資産廃棄損	1	—
特別損失合計	4	1,273
税金等調整前四半期純利益	5,720	6,523
法人税、住民税及び事業税	1,414	1,699
法人税等調整額	427	357
法人税等合計	1,841	2,057
四半期純利益	3,878	4,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,878	4,466

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,878	4,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	37
為替換算調整勘定	283	242
その他の包括利益合計	326	280
四半期包括利益	4,205	4,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,205	4,746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,171百万円	1,364百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,248	2,007	17,256	—	17,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	1	△1	—
計	15,250	2,007	17,257	△1	17,256
セグメント利益	6,064	336	6,401	△398	6,002

(注) 1. セグメント利益の調整額△398百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△422百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,785	2,482	19,267	—	19,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	△4	—
計	16,789	2,482	19,272	△4	19,267
セグメント利益	6,444	497	6,942	△593	6,348

(注) 1. セグメント利益の調整額△593百万円には、セグメント間取引消去4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△598百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。